

フォーラム：がんばろう！東北

開催される

300名が結集、東北の社会資本整備に必要な予算確保と地域間格差是正に向けた高規格道路整備などを求める決議を採択！



(会場風景)

東北の社会資本整備を考える会（〈代表：（一社）東北経済連合会〉、東北六県商工会議所連合会、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、東北建設業協会連合会の5団体で構成）では、7月10日（月）山形市のホテルメトロポリタン山形において「フォーラム：がんばろう！東北」を約300名結集のもと開催した。来賓として、山形県知事（代理森谷山形県県土整備部次長）、東北地方整備局山本局長等が出席し、当協会からは太田会長を始め90名が参加した。

大会の冒頭、主催者代表挨拶に立った東北経済連合会の増子会長は、「日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンクや日本海側と太平洋側をつなぐ高規格道路の未整備により、東北域内の地域間格差が顕在化していることを指摘し「日本海・太平洋の二面的活用を進めた国土利用が必要であり、それが今後の経済発展と災害対応を左右することは確実だ。今後の社会資本整備の必要性について議論していく場としたい。」と述べた。

来賓の山本東北地方整備局長は、「東北道と三陸道に加え東北中央道と日本海沿道も整備が進んでいる。人口減少の中、より広い地域を結び利便性の高い地域としていきたい。気候変動の影響による豪雨や、予測できない地震について山形でも対策が進んでいる。安全確保のために何が必要となるか準備をするきっかけにしたい。」と述べられた。

意見発表では、農業生産法人ANEKKO代表取締役の村上美栄子さん（青森県）が「近づく東北 来て、観て、食べて」と題し、久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」理事の宇部たみ子さん（岩手県）が「復興！その先へ「もぐらんぴあ」からの発信」と題してそれぞれ意見発表した後、政策研究大学院大学特別教授の家田 仁氏が「東北地方から広域計画を考える」と題して基調講演を行った。

最後に、山形県商工会議所連合会副会長の鈴木隆一氏が、関係機関に対する要望事項7項目を掲げた決議を読み上げ参加者全員で採択した。